

# 平成28年度 事業報告書

社会福祉法人白菊会  
かみこまつ保育園

## (1) 法人としての取り組み

保育所としては創立50年の節目を締めくくるにあたり、使命とされている待機児解消や、さまざまな保育需要への対応を図りながら事業運営を行ってきた。

また法人としても社会福祉法改正への備えを進めながら、定款変更・評議員会の創設・株式会社立保育所との競争激化・保育士採用難への対策といった困難な課題に対して一つ一つ対処しているところである。こうした事務量の飛躍的増加に対して、人的資源の配置を再考する必要にも迫られている。

そうした課題を検討しつつ、地域社会の信頼に地道に答えるべく務めてきた一年であった。

人員構成の実績（看護師、主任保育士等を除く。）

年令	クラス名	クラス定員 ( ) 内は利用延べ人数	保育士配置数
0歳児クラス	ひよこ組	9名(108名)	3名
1歳児クラス	あひる組	12名(144)	2名
2歳児クラス	ひばり組	12名(141)	2名
3歳児クラス	うさぎ組	12名(144)	1名
4.5歳児クラス	くま・ぞう組	25名(294)	2名
計		70名(831)	12名
一時保育	りす組	～5名	(2名(兼任))

職員---20名 ほか非常勤職員等11名

## (2) 保育の実績

保育の内容は安全性を最優先に、人権に配慮しつつ、落ち着いた、基本に忠実な良質の接遇となるよう、全職員で取り組んだ。

厚労省からの注意喚起もあり、長い開所時間のなかで保育を安全に進めるため、本年は特に乳幼児のSIDS対策を徹底し、従来のAED救命具に加えて、乳児にも使用可能な人工呼吸・酸素吸入具を常備するなど充実を図りながら保育を実施してきた。

また子育てひろば事業では、室内での掲示やホームページの呼びかけの効果が少しずつ浸透してきたようで、お弁当持参でいらっしゃる地域子育て家庭数に増加の傾向がみられた。

## (3) 環境整備の実績

園内の殆どの空間は公的スペースであるため、「誰が入っても恥ずかしくない環境を維持する」ことを職員全体で徹底した。

また園敷地内で人手の入りにくい南側敷地境の区域について、夏期に雑草が大きく繁茂して、蚊対策の面からも問題であったため、雑草の生えにくい砂を使用して土壌を改良する環境整備を行った。

#### (4) 質的向上のための研修等の実績

- \*OJTを通じて職場内研修を月一回実施した。
- \*個人別研修計画に基づき、また外部研修についてのガイドラインに従い、職員を外部研修会に参加させた。
- \*人権に関する識見を高める必要性を職員会議で説き、研修に参加させた。

#### (5) その他

- \* 小学校との連携を進めるため、小学校や学童保育所への移行がスムーズに進むよう、連絡会に出席させた。また小学校一年生との交流会や展覧会の見学など、小学校との交流事業も行った。
- \* 子ども子育て支援新制度に対応できるよう、説明会や研修会等へ積極的に参加した。
- \* 中学生、高校生の職場体験や養成校の保育実習生を積極的に受け入れ、また施設長が地域の小学校の学校評議員を務めたり、青少年育成地区委員会の委員を務めたりする等、地域や区からの要請を積極的に受け入れて活動をした。そうした日々の繋がりの中から、地域の保育需要や課題を把握したり評議員候補者として適任の方を掘り起こし、また就任を依頼して新制度への対応を図った。

#### (6) 保育理念

この保育園は、穏やかで安定した環境の中で、すべての子どもの最善の利益を確保しつつ保育を行い、その家庭の健全育成をはかるとともに、地域の子育て支援を通じて社会に貢献する。

#### (7) 開所時間

- イ. 午前7時00分～午後6時00分
- ロ. 午後6時00分～8時00分（延長保育。土曜日を除く）



クラス保育目標	年間の評価
<p>0歳児 ひよこ組</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ひとりひとりの要求を受け止め、保育士との温かい関わりの中で信頼関係を築いていく。</li> <li>・個人差に留意しながら、離乳や歩行の完成、発語を支えていく。</li> <li>・五感を刺激する遊びを通して感覚の発達を豊かにし、身の回りの物事へ興味・関心が持てるようにする。</li> </ul>	<p>年間の評価</p> <p>0歳児 ひよこ組</p> <p>1期は親元を離れての初めての保育園生活に1人1人とコミュニケーションを取り信頼関係を築けるよう心掛けたが、今年度は長時間保育の子が多く慣れるまでに時間がかかった。2期になると子ども達もだいたい落ち着いてきて自分で遊びを見て大人と一緒に遊びを楽しむ姿が多く見られるようになり、行動範囲も広がってより目が離せなくなってきた。危険のないような部屋の環境設定を心掛けた。食事もよく食べ、睡眠もほとんどの子が一定時間安定した眠りにつくことが出来るようになってきた。3期・4期になると子ども達同士の間わりが多くみられるようになってきた分、玩具の取り合いやひっかき、噛みつきなどが多く見られるようになり保育者同士で連携を取りながら未然に防げるように気を付けたがなかなか難しく保育者に謝る事が多くなってしまった。1年を通して0歳児の保育の難しさを改めて感じたが、子ども達も朝泣いてくる事がほとんどなく毎日笑顔や成長を見せてくれ安心して保育園に通ってきてくれたのではないかと思う。</p>
<p>クラス保育目標</p> <p>1歳児 あひる組</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保育士との安心でできる信頼関係を通して、友達に関心を持ち、人への関係を広げていく。</li> <li>・自分でやってみようという気持ち萌芽が芽生え、少しずつ基本的な生活習慣を身につける。</li> <li>・言葉や表現、体を使って、自分の思いを表す。</li> <li>・全身を使った遊びを楽しむ中で、運動機能を伸ばすと同時にしっかりと歩けるようになる。(誘導ロープを掴んで歩く)</li> </ul>	<p>年間の評価</p> <p>1歳児 あひる組</p> <p>・進級当初は新しい環境・保育者に慣れず、0歳児から持ち上がり保育者に後追いしたり、抱っこを求めたり一日中泣いて過ごす子もいた。少しずつ慣れて保育者から離れて遊ぶようになった。戸外へも誘導ロープを使い、出られるようになった。進級して間もないころに噛みつきトラブルが起きた。保護者と噛まれないようにすると約束をし、園全体で連携し、噛みつきのないように配慮した。6月以降その子への噛みつきはないので、保護者も穏やかに過ごしているように見える。言葉のやり取りを覚える中で自分の思いをすぐに出せないことから、泣くことで保育者に伝えようとする子が増えた。一つの手段だが引き続き、言葉で伝えることを身につけていってほしい。話を聞く姿勢が少しずつ身についた。読み聞かせに参加出来なかった子が全員で見ることが出来たり、集中することが出来始めた。誰かがふざけるとみんなに広がるので、つられないことも増えた。これからは自分自身に付けてほしい。自我が芽生え「いや」とすることも増えたが、「自分で」ということもある。着替えが自立し始めているのは大きい成長だと思う。トレーニングパンツの移行が2名いた。トイレットトレーニングや戸外から帰ってくることの切り替えを嫌がらずにきちんとできたと思う。</p>

クラス保育目標	年間の評価
<p>2歳児 ひばり組</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・安心できる保育士のもとで簡単な身の回りのことを自分でやろうとする。</li> <li>・友達と一緒に同じ遊びを楽しみながらその中で自分の思いや欲求を言葉で表現しようとする。</li> <li>・自然に触れ、季節を感じながら戸外遊びを楽しむ。</li> </ul>	<p>2歳児 ひばり組</p> <p>進級当初は担任が変わり戸惑っている子ども多かったが、徐々に慣れていくことができた。配慮した。進級当初から話を聞ける落ち着いたクラスだったので、そのまま進級できるように落ち着いた子どもが多い反面、困っていることを自分で伝えることが苦手な子どもが多かったので、自分の気持ちを言葉で伝えられるようになることを目標にした。最初は困ったことがあると保育者に目を訴えたり、何も言えずに泣いてしまいう事も多かったが、最近は言葉で伝えられるようになってきた。また、月齢の低い子は嫌な事があると手が出してしまう事もあったが、根気強く言葉で伝えるように言い聞かせた。最近ではほとんど手が出る子はいなくなかった。歌やお遊戯が好きで、季節の歌をピアノに合わせて歌うことを楽しんでいった。少し難しい歌詞でも自分達の好きな歌は保育者にリクエストして歌っていた。お遊戯会のお遊戯は4月から踊っていたものにしたので、子ども達に負担なく普段の保育の様子を発表することができ良かった。落ち着いて満たされる子どもが多い反面、イヤイヤ期真っただ中の子もいて対応に苦労した。保護者と相談し家庭と保育園で同じ対応をするようにした。その子への対応で他の子ども達を待たせてしまう事が多かったので反省している。最近は徐々に落ち着いてきたようだが、進級に対しての不安が残る。また、新入園児は言葉の壁がある上欠席が多かったので、園生活に慣れるのまでも大変だった。様々な工夫を行い一月頃ようやく保育園に慣れる事ができた。パンツへの移行は時間がかかり、まだ取れていない子ども数人いる。本人のペースに合わせて焦らず進められるように心がけた。長く遊ぶためにわざと一斉のトイレの時間に行かない子どもいたり、保育の難しさを感じた。</p>
<p>クラス保育目標</p> <p>3歳児 うさぎ組</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的な生活習慣の自立を確立する。</li> <li>・友達と関わる事を楽しみながら、つながりを深めるとともに異年齢の友達との関わりにも親しんでいく。</li> <li>・粘土・製作などを通して自由に表現することを楽しむ。</li> <li>・自然や身近な生き物に親しみを感じ、おもしろさや美しさなどに気づく。</li> <li>・自分の気持ちを言葉で伝え、イメージを言葉や行動などで自分なりに表現できる。</li> </ul>	<p>3歳児 うさぎ組</p> <p>環境の変化に伴い、進級当初不安定な子どもが多かった。担任が持ち上がりだったこともあり、関係は築かれていたので気持ちを受け止めることは出来たのではないだろうか。その反面、一対一の関わりを求めてわざと注目行動をすることも目立っていたように感じた。一階の生活にも慣れ始めると、部屋を走り回ることや室内での遊びではないことをして落ち着かないことが余計に増えた。繰り返し繰り返し伝えていき、子どもたちのなかで意識は変わったものの、保育者の目を盗んでは今でも遊んでいることが気になる。今後も繰り返し伝えていきたい。くま・ぞうの遊びから刺激されて、製作する機会も増えて手先の器用さにもつながった。ものを大事に使うことは今後も繰り返し伝えていきたい。基本的な身の回りのことは、日々の繰り返しの中で少しずつ慣れて、覚えていった。時には雑になり乱れることもあったが、丁寧に行い、しっかりと行うことが身につけていくのではないだろうか。くま組になっても引き続き行ってほしいと思う。友だち同士のトラブルは本当に多かった。年間通して噛みつきや手が出ることも全くなかったわけではないが、少しずつ自分の気持ちを自分で説明して解決することが出来るようになってきた。自分の気持ちを相手に伝えるだけでなく、落ち着いて他者の話を聞けるように今後はなって欲しい。幼児組になり、合同集会の間、集中が切れずに参加することが難しかった。クラス単体の朝の会も行ってみたいが、色々な要因から毎日行うことが出来なかった。4月から年下が入ってくることを意識してもらう少し集中できるようになって欲しい。</p>

クラス保育目標	年間の評価
<p>4歳児 くま組</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分でできることの範囲を広げながら、健康で安全な生活に必要な生活習慣を身につけ、自分から行動する。</li> <li>・友達と一緒に行動する楽しさを感じ、お互いの気持ちを共有し、共に遊ぶことを楽しむ。</li> <li>・子ども達一人一人の気持ちを受け止め、自分でできる行動範囲を広げ何事にも挑戦していけるようにする。</li> <li>・一人一人の子どもが自分の思いや、それぞれの経験や知識などお互いに受け入れられるよう配慮し、明るく伸び伸びとした園生活が送れるようにする。</li> </ul>	<p>4歳児 くま組</p> <p>新年度が始まり新しい初めての担任となり最初は戸惑いが見られたものの、スムーズに移行することができた。それぞれ個人の性格等を把握するようにながら、生活面(特に身支度)の見直しを行った。話を聞く・集中する・動かないが苦手なクラスだったが、一年を通して落ち着いたように思う。しかし、個別配慮が必要な子どもも多く、対応に悩んだり心が折れそうになったことも多々あった。遊びは活発で戸外でも積極的に遊んでいた。鉄棒・縄跳び・大縄にも関心を持って、意欲的に取り組む子どももいたが、特に男子はこちらが声をかけないとやらないことが多い。行事を通してクラスとして団結し、子ども達に自信がつけたいように思う。お別れ会の時は特にそう感じた。些細な事でトラブルになることが非常に多く、保育者が相手の気持ちを考えられるように援助することが必要だった。また、後期は言いにくいとわかっていてやっていることが多い、注意をすることが多くなっていった。その都度どうしていいかわからないのか、お約束の意味等しつかり伝えるように心掛けた。今まで自分が経験してきた幼児組とは違い、今までの固定観念を崩し柔軟な対応が必要だと強く感じた一年だった。</p>
<p>5歳児 ぞう組</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・色々な経験をすることで、基本的な生活習慣や自主性・協調性を身につけ、思いやりや感謝の心を持ち充実感を味わう。</li> <li>・やればできる経験を重ねて、喜びにつなげ活動に意欲的に取り組む。</li> <li>・身近な自然に興味関心を持ち、好奇心や探求心を高め、感性を豊かにする。</li> <li>・生活や遊びの中で仲間との関わりを深め、協力しあう大切さを知る。</li> <li>・明るく夢を持ち、のびのびとした心を育てる。</li> </ul>	<p>5歳児 ぞう組</p> <p>一期は、ぞう組になったことへの嬉しさを感じ、様々なことを張り切って行っていた。はると君という新入園児も加わり、みんなで温かく受け入れることが出来た。野菜やひまわりの苗も植え、みんなで大事に育てた。毎日成長を楽しみに観察している姿が可愛らしかった。二期に入り、夏期保育が始まった。異年齢児との関わりも増え、年下の友達に優しく接する姿も多く見られるようになってきた。水遊びでは顔を付けて潜ったり泳いだり水への抵抗なく楽しんで遊んでいる姿が印象的だった。三期では、運動会・お遊戯会と年長児としての頑張りを見せる行事が続いた。練習中は喧嘩が多く、なかなか進まなかったり全員参加出来なかつたりと、上手くまとめられずに歯がゆさを感じた。怒ってしまうことも多く、上手く練習を進められなかつたりと、深く反省している。そんな子ども達も、本番までにはなんとかまとまり、当日は素晴らしい活躍を見せてくれた。行事の度に壁にぶつかり悩んだが、成長していく姿を見ることが出来るとも嬉しかった。四期は、就学に向けて意識を高めたり、卒園までの時間を大切に過ごすよう心掛けた。文字練習では集中力が続かずに苦勞したが、少しずつ時間を伸ばしなんとかひらがな五十音を終えることが出来た。また、お別れ会や寝ない日を使い、自分達の成長を振り返る時間も設けた。ぞう組までの間に成長したことをみんなでも考え、自信を持って卒園式に臨めたのではないかなと思う。一年を通してトラブルが多く、正直とても大変な一年だった。自分の保育を見つめ直す良い機会ともなったので、この一年で学んだことを今後の保育に活かしていきたいと思う。</p>

# (10)平成28年度 給食・食育報告書

平成29年4月3日  
 栄養士 鈴木 菜永

食育(年間として)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幼児組を中心に、年間計画以外にも進んで取り組んでいたのも良かったと思う。ただ、前半に集中していて、行事が多くなる時期には少なくなっていたので、もう少し年間のバランスを見て行ってもらえば良かったと感じた。</li> <li>・秋頃に果物シロップ作りをもう少し出来たら良かった。(保育者)</li> </ul>
野菜の皮むき等手伝い	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度は希望が少なく、計画で盛り込んだもの以外はほとんど行っていない。作業も簡単で、子ども達の食事の食べも良くなるので、各クラス余裕があれば動めて行こうと思う。</li> </ul>
世界の料理(特別食)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの目の前でお肉を切り分けるなどの実演や、世界地図を用いて、国の大きさを伝えたりと、興味が湧く工夫ができたので良かったと思う。</li> </ul>
おやつづくり(5歳児)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ケンカもケガもせずにとっても楽しく活動出来た。友達同士で協力し合い、自分たちだけで作り終えた子ども達の表情から、大きな達成感を感じることが出来た。</li> <li>・昨年度同様、子ども達の様子を見て回数を1回にした。次年また様子を見て検討したいと思う。</li> <li>・1月～2月は感染症が流行する可能性が高いので、次年度は秋におやつづくりを組み込む。</li> </ul>
栄養指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>・箸の持ち方指導について。昨年度からの反省で、4歳児と5歳児ではレベルに差があるので別々に活動するとあったので、今年度は別々に活動を行った。十数人での活動になり、個々と向き合ってみることが出来たので、とても良かったと思う。次年も引き続き続けて行きたいと思う。</li> <li>・食事のマナーについて。食事をする時の姿勢などを指導した。(例:自分と机の間はグー(片手)ひとつ分なら空けても良い)活動後しばらく、“このくらい?”と各々が確認していたので、成果があったと思う。この手の指導は、活動後の日々の声掛けが大切だと思うので、繰り返し伝えて行きたいと思う。</li> <li>・三色の栄養について。これは一度、時間を設けて指導を行い、バイキング給食の時にもう一度話をした。繰り返し話をすることで、子ども達にも内容が身に付いていたので良かったと思う。バイキング給食では、話を踏まえての実践になるので、成果も見られて良いと思う。次年も続けて行きたい。</li> </ul>
給食主食量について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・昨年度同様、1F幼児組の配膳方法を夏期保育と同じにした。“自分の食べたい量・食べられる量を知る”というところに重きを置いて様子を見てきた。担任とも相談しながら、引き続き様子を見て行きたいと思う。</li> </ul>
箸	<ul style="list-style-type: none"> <li>・4歳児7名移行。(スプーン兼用5名)無理なく進めるよう様子を見て行きたいと思う。</li> </ul>
食事	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日々の声かけによって、少しずつマナーが身に付いて来たように思う。保育士とも協力し、子ども達の負担にならない程度に続けていけたらと思う。</li> </ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度は0歳児クラスより、気付いた点、要望などを多くもらった。改めて気付かされたものもたくさんあり、良い意味で、考えさせられた1年だった。全ては受けられないが、こちらとの兼ね合いなどを見て、変えた方が良い点、取り入れた方が良いものなど検討したいと思う。</li> </ul>

# 0・1・2歳児クラス食育活動

		春(3～5月)			夏(6～8月)			秋(9～11月)			冬(12～2月)		
旬の食材		網さや キャベツ たけのこ いちご	スナップエンドウ 新じゃがいも グリーンピース	アスパラガス 新玉ねぎ 梅	そら豆 トマト 冬瓜 ピーマン すいか アジ	枝豆 きゅうり オクラ ズッキーニ メロン	とうもろこし なす かぼちゃ さくらんぼ カレイ	きのこ類 ごぼう ぶどう キウイ	里芋 栗 梨 鮭	さつまいも 柿 りんご さんま	大根 小松菜 チンゲン菜 カリフラワー みかん	かぶ ほうれん草 にら 長ねぎ かじき	白菜 春菊 ブロッコリー れんこん さわら
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
0歳	調理保育												
1歳	調理保育								キャベツ ちぎり ドレッシング づくり	おにぎり にぎり		おにぎり にぎり	
2歳	調理保育		おにぎり にぎり	空豆取り	枝豆もぎ		葉もの ちぎり ↓ ドレッシング づくり	きのこさき 練習 バターづくり (朝)	きのこさき 練習	きのこさき 練習 ↓ おにぎり にぎり			クリスマス ケーキづくり

※下記の活動は、その都度希望を取り、取り入れて行く。(少人数ずつ可)

- ・野菜(洗い・皮むき(ピーラー可)・ちぎり・割り・すじ取り)
- ・米研ぎ
- ・ごますり
- ・観察



### 3・4・5歳児クラス食育活動

	春(3～5月)			夏(6～8月)			秋(9～11月)			冬(12～2月)		
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
旬の食材	絹さや キャベツ たけのこ いちご	スナップエンドウ 新じゃがいも グリーンピース	アスパラガス 新玉ねぎ 梅	そら豆 トマト 冬瓜 ピーマン すいか アジ	枝豆 きゅうり オクラ ズッキーニ メロン	とうもろこし なす かぼちゃ さくらんぼ カレイ	きのこ類 ごぼう ぶどう キウイ	里芋 栗 梨 鮭	さつまいも 柿 りんご さんま	大根 小松菜 チンゲン菜 カリフラワー みかん	かぶ ほうれん草 にら 長ねぎ かじき	白菜 春菊 ブロッコリー れんこん さわか
3歳	調理保育	調理保育	調理保育	調理保育	調理保育	調理保育	調理保育	調理保育	調理保育	調理保育	調理保育	調理保育
4歳	栄養指導	栄養指導	栄養指導	栄養指導	栄養指導	栄養指導	栄養指導	栄養指導	栄養指導	栄養指導	栄養指導	栄養指導
5歳	調理保育	調理保育	調理保育	調理保育	調理保育	調理保育	調理保育	調理保育	調理保育	調理保育	調理保育	調理保育
	栄養指導	栄養指導	栄養指導	栄養指導	栄養指導	栄養指導	栄養指導	栄養指導	栄養指導	栄養指導	栄養指導	栄養指導

※下記の活動は、その都度希望を取り、取り入れて行く。(少人数ずつ可)  
 ・野菜(洗い・皮むき(ピーラー可)・ちぎり・割り・すじ取り)  
 ・米研ぎ・こますり・観察

前期(4月～9月)

月	目標	内容	行事	行事食(テーマ)	配慮するポイント・食育のポイント
4	保育園の給食に慣れよう	入園・進級での環境の変化に慣れる。 食べやすい献立を心がける。	入園式 おたのしみ会	・おたのしみ会特別メニュー(春)	●新入園児が保育園給食に早く慣れる事ができるよう、食品の大きさ・味付け・量に配慮する。 ●家庭的な食べやすい献立を取り入れる。 ●各学年に合わせた、栄養基準値を設定する。
5	落ち着いて食べられるようにしよう	ゆったりと食事が出来るように環境を整える。 年齢に応じた食事マナーを知り、心がける。	こどもの日(端午の節句) おたのしみ会	・おたのしみ会特別メニュー (子供の日・端午の節句)	●句を取り入れながら、すべてのクラスが落ち着いて食事が出来るよう心がける。 ●年齢に応じた知識やマナーを、栄養指導を通して伝えていく。
6	衛生面に気を付けよう	正しい手洗いをし、その必要性を理解する。 調理上の衛生面を徹底する。	園まつり 保育参加月間(幼児) おたのしみ会	・カレー・フランクフルトなどの特別メニューを提供する(園まつり) ・おたのしみ会特別メニュー(梅雨)	●食中毒の発生がないよう、食品の管理・手指や器具の衛生に十分注意する。 ●園まつりを通して地域に園を開放し、知ってもらおう。 ★保育参加の際、保護者に給食を試食してもらいたい味わってもらおう。
7	好き嫌いをなくそう	食材に触れるなどの活動を取り入れ、食欲が湧くような工夫をする。	七夕 すいか割り &プール開き お泊り保育 おたのしみ会	・流しそうめん(お泊り保育) ・おたのしみ会特別メニュー(七夕)	●食欲が湧く工夫をする。(味付けの工夫) ●お泊り保育では、いつもと違う設定で、楽しく食べられるメニューにする。 ●自分で育てた野菜を食べる事で、収穫の喜びを感じられるようにする。
8	暑さに負けずに食べよう	水分を十分に取り、栄養価の高いものを取り入れる。	おたのしみ会	・おたのしみ会特別メニュー(夏)	●水分補給に配慮する。 ●個々の食欲に配慮し、食べやすく栄養価の高い献立にする。
9	よく動き、よく食べよう	運動量の増加とともに、食事量にも配慮する。	親子遠足 おたのしみ会	・家庭からお弁当持参(親子遠足) ・おたのしみ会特別メニュー(月見・彼岸)	●運動量が増え、食欲も増してくるので、盛り付け量を配慮する。

後期(10月～3月)

月	目標	内容	行事	行事食(テーマ)	配慮するポイント・食育のポイント
10	秋の味覚を楽しもう	旬の食品を取り入れて、季節感を楽しめるようにする。	運動会 おたのしみ会	・家庭からお弁当持参(運動会) ・おたのしみ会特別メニュー (秋・行楽弁当)	●おいしいものがたくさん出てくるので、実りの秋を味わえるように工夫する。 ●基準量を見直し、食欲や成長に見合っているかを検討する。 ●屋外の開放された空気の中でお友達と楽しく食事をし、お弁当を作ってくれた人への感謝の気持ちを大切にす。
11	丈夫な体をつくらう	食事量に配慮し、風邪などに負けない体力づくりを心がける。	保育参加月間(乳児) おたのしみ会	・おたのしみ会特別メニュー(世界の料理)	●寒さに負けない体作りを心がける。 ●その国独自の料理を味わい、その地域の食文化に触れ、関心を持つ。 ★保育参加の際、保護者に給食を試食してもらい味わってもらおう。
12	行事を通して食事を楽しもう	盛り付けなどに工夫をし、行事を楽しめるようにする。	お遊戯会 クリスマス会 兼おたのしみ会	・おたのしみ会特別メニュー(クリスマス)	●ノロウイルスなど、ウイルス類の活動が盛んになるので、衛生面には特に注意する。
1	食事マナーをしっかりと身につけよう	各年齢で無理なくできる範囲のマナーを身につける。	七草 鏡開き おたのしみ会 おやつ作り(ぞう組)	・七草がゆ(おやつ) ・おしるこ(おやつ) ・おたのしみ会特別メニュー(世界の料理)	●生活が安定してきたこの時期に、年齢に応じた食事マナーを見直す。 ●調理を体験して、作ることの楽しさや大変さを知り、達成感を味わう。(おやつ作り)
2	自分で選んで食べてみよう	三色の栄養のバランスを考え、楽しみながら選ぶ力をつける。	節分 おたのしみ会 おやつ作り(ぞう組)	・豆まき ・おたのしみ会特別メニュー(バイキング)	●次の学年への移行に向けて個々の食べ具合を再確認し、調整していく。 ●選ぶことの大切さ・選ぶことの楽しさを感じられるようにする。(バイキング)
3	お友達と楽しく食べよう	温かい雰囲気の中で、食事や会話を楽しむ。	ひな祭り(桃の節句) お別れ会	・特別メニュー(ひな祭り・桃の節句)	●春を感じさせるメニューを取り入れる。 ●食事を作ってくれた人へ、感謝の気持ちを待つ。

(11)平成28年度

かみこまつ保育園 保健 実績報告書

月	年間目標	実施日	健康面・安全衛生留意点	保護者、園児への働きかけ	職員の保健行事	保健事務その他
4月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入園式</li> <li>・保護者会</li> <li>・身体測定(月1回)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>4月1日</li> <li>4月8日</li> <li>4月15日</li> <li>5月16日</li> <li>6月14日</li> <li>4月27日</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入園前の健康状態、体質などを把握する。</li> <li>・日々の巡視にて日常の健康状態を把握。</li> <li>・SIDS について学習と対応。乳児の睡眠チェックを行い事故防止に努める。</li> <li>・環境の変化に伴う体調の崩れや事故に注意する。</li> <li>・健診が円滑に行えるように配慮する。</li> <li>・歯磨き指導を通じて歯磨きの大切さをしる。</li> <li>・正しい手洗いの習慣が身につくように手洗いを指導する。</li> <li>・下痢・嘔吐の際は感染を広げないように的確に処理をする。</li> <li>・頭シラミ発見のための頭髪チェック。</li> <li>・虫よけシートの使用を開始。乳児は手作り虫よけスプレーを使用した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保健行事、感染症、具合の悪いとき、ケガの時など、保育園での対応及びSIDS 対策についての説明を行った。</li> <li>・家庭生活と保育園生活の違いや、安全衛生について、保護者会、ほけんだよりを通して知らせる。(4月8日)</li> <li>・健康診断、歯科健診、身体測定の結果を知らせ、必要に応じて治療を勧める。6月13日</li> <li>・下痢嘔吐時の汚染された衣服等は、感染拡大防止のため園では洗浄しない旨を伝える。</li> <li>・ハッカ油・精製水を使用している旨を伝える。6月30日</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・検便 4月</li> <li>・栄養士、調理員、0歳児担当保育士 看護師(1回/月)</li> <li>4月11</li> <li>5月16</li> <li>6月13</li> <li>7月12</li> <li>8月9</li> <li>9月6</li> <li>10月12</li> <li>11月8</li> <li>12月6</li> <li>1月16</li> <li>2月7</li> <li>3月6実施</li> <li>その他保育士</li> <li>6月13日実施</li> <li>・定期健康診断</li> <li>5月16・17・19・20・23日に実施</li> <li>・救命講習</li> <li>訓練用AEDを使用し、心肺蘇生訓練</li> <li>6月24・27実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新入園児の健康状況(病歴)アレルギー、使用薬品の有無、留意点など全職員に伝える。</li> <li>・保健だより作成</li> <li>・保健日誌の記入</li> <li>・0歳児の健康観察及び記入。</li> <li>・定期健康診断、身体測定の結果を記入し保護者に伝えた。</li> <li>・歯科健診日程調整</li> <li>・歯科健診記録用紙の準備をする。結果のお知らせを保護者に伝える。(6月13日配布)</li> <li>・検便容器の準備、配布。</li> <li>・職員健診日程調整</li> <li>・結果配布6月3日</li> </ul>
5月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期健康診断</li> <li>2・3・4・5歳児4・10月</li> <li>・0・1歳児は毎月(乳児健康診断)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>5月25日</li> <li>6月22日</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・正しい手洗いの習慣が身につくように手洗いを指導する。</li> <li>・下痢・嘔吐の際は感染を広げないように的確に処理をする。</li> <li>・頭シラミ発見のための頭髪チェック。</li> <li>・虫よけシートの使用を開始。乳児は手作り虫よけスプレーを使用した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・健康診断、歯科健診、身体測定の結果を知らせ、必要に応じて治療を勧める。6月13日</li> <li>・下痢嘔吐時の汚染された衣服等は、感染拡大防止のため園では洗浄しない旨を伝える。</li> <li>・ハッカ油・精製水を使用している旨を伝える。6月30日</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>8月9</li> <li>9月6</li> <li>10月12</li> <li>11月8</li> <li>12月6</li> <li>1月16</li> <li>2月7</li> <li>3月6実施</li> <li>その他保育士</li> <li>6月13日実施</li> <li>・定期健康診断</li> <li>5月16・17・19・20・23日に実施</li> <li>・救命講習</li> <li>訓練用AEDを使用し、心肺蘇生訓練</li> <li>6月24・27実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保健だより作成</li> <li>・保健日誌の記入</li> <li>・0歳児の健康観察及び記入。</li> <li>・定期健康診断、身体測定の結果を記入し保護者に伝えた。</li> <li>・歯科健診日程調整</li> <li>・歯科健診記録用紙の準備をする。結果のお知らせを保護者に伝える。(6月13日配布)</li> <li>・検便容器の準備、配布。</li> <li>・職員健診日程調整</li> <li>・結果配布6月3日</li> </ul>
6月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歯みがき指導(幼児)</li> <li>・歯科健診(全園児)</li> <li>・手洗い指導(幼児)</li> <li>・頭髮子エック</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>6月9日</li> <li>6月16日</li> <li>6月20日</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・下痢・嘔吐の際は感染を広げないように的確に処理をする。</li> <li>・頭シラミ発見のための頭髪チェック。</li> <li>・虫よけシートの使用を開始。乳児は手作り虫よけスプレーを使用した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・下痢嘔吐時の汚染された衣服等は、感染拡大防止のため園では洗浄しない旨を伝える。</li> <li>・ハッカ油・精製水を使用している旨を伝える。6月30日</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>2月7</li> <li>3月6実施</li> <li>その他保育士</li> <li>6月13日実施</li> <li>・定期健康診断</li> <li>5月16・17・19・20・23日に実施</li> <li>・救命講習</li> <li>訓練用AEDを使用し、心肺蘇生訓練</li> <li>6月24・27実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期健康診断、身体測定の結果を記入し保護者に伝えた。</li> <li>・歯科健診日程調整</li> <li>・歯科健診記録用紙の準備をする。結果のお知らせを保護者に伝える。(6月13日配布)</li> <li>・検便容器の準備、配布。</li> <li>・職員健診日程調整</li> <li>・結果配布6月3日</li> </ul>
7月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者会</li> <li>・身体測定</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>7月8日</li> <li>7月14日</li> <li>8月9日</li> <li>9月15日</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クーラーによる冷しすぎ、部屋の換気に注意する。</li> <li>・食欲の減退や体力の低下に注意し、睡眠、栄養が十分とれるように促す。</li> <li>・熱射病予防のため戸外出るときは着帽励行。</li> <li>・体温上昇と水分補給に配慮する。</li> <li>・プールに入る前に臀部をよく洗い流す。</li> <li>・健康状態を把握して、水温、気温、水深を確認する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・栄養、睡眠、休息に心がけ生活のリズムを乱さないように注意する。</li> <li>・冷たいものを摂りすぎないように注意する。</li> <li>・熱中症予防を呼びかける。</li> <li>・ほけんだよりを通して、夏の感染症、過ごし方などを知らせる7月8日</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・救命講習</li> <li>訓練用AEDを使用し、心肺蘇生訓練</li> <li>6月24・27実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・結果配布6月3日</li> </ul>
8月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者会</li> <li>・身体測定</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>7月8日</li> <li>7月14日</li> <li>8月9日</li> <li>9月15日</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クーラーによる冷しすぎ、部屋の換気に注意する。</li> <li>・食欲の減退や体力の低下に注意し、睡眠、栄養が十分とれるように促す。</li> <li>・熱射病予防のため戸外出るときは着帽励行。</li> <li>・体温上昇と水分補給に配慮する。</li> <li>・プールに入る前に臀部をよく洗い流す。</li> <li>・健康状態を把握して、水温、気温、水深を確認する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・栄養、睡眠、休息に心がけ生活のリズムを乱さないように注意する。</li> <li>・冷たいものを摂りすぎないように注意する。</li> <li>・熱中症予防を呼びかける。</li> <li>・ほけんだよりを通して、夏の感染症、過ごし方などを知らせる7月8日</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・救命講習</li> <li>訓練用AEDを使用し、心肺蘇生訓練</li> <li>6月24・27実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・結果配布6月3日</li> </ul>
9月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・親子遠足</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>9月24日</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・健康状態を把握して、水温、気温、水深を確認する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プール遊びの健康チェックに協力してもらう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・救命講習</li> <li>訓練用AEDを使用し、心肺蘇生訓練</li> <li>6月24・27実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・遠足時の携帯救急バツクの中身確認と補充する。9月16日</li> </ul>

10月	・菌みがき指導 幼児 乳児 ・歯科健診(全園児)	10月12日 10月14日	・菌磨き指導を行い菌に関心を持たせる。 ・正しい手洗い方法、うがいの指導を行い、手洗いうがいがいい習慣が身につくように働きかける。 ・室内の温度、湿度、および換気に心がけ適切な環境を保つ。	・インフルエンザワクチンの接種を勧める。 ・インフルエンザ出席停止期間早見表を配布する。11月配布 ・風邪は初期段階できちんと対応し、悪化させないように治療を促す。 ・手洗いチェッカー・チェッカー専用口シーションを使用し、手洗いをするうえでどこに注意して手洗いをするとよいかを一緒に考え、実践する。	感染症マニュアルを用いて確認 ・嘔吐下痢などの処理法講習 ・インフルエンザワクチンの接種を勧める 10月お知らせにて掲示する。	・絵本、紙芝居、ペーパーサートなどを使い子どもが興味を持つような題材を用意し、保健指導を行う。 (菌みがき指導・手洗い指導など) ・感染症発生時、園内に状況を掲示し注意を促す。
11月	・定期健康診断 ・手洗い指導	10月13日 10月26日 12月16日				
12月	・身体測定	{ 10月17日 11月15日 12月15日				
1月	・身体測定	{ 1月16日 2月16日		・進級・進学するにあたり予防接種の漏れはないか確認する。 ・保健時、園児に危険がないように部屋の環境を整える。	・救命講習 (救命処置心肺蘇生・人工呼吸ユニ	・怪我などが起きた時に事故簿に記入する。 ・新入園児健康診断
2月	・ぞう組身体測定 ・新入園児説明会 ・新入園児健康診断	3月7日 3月8日 3月8日		・保健だよりを通して、感染症の状況を知らせる。 ・成育歴(出産時、発育、体質、既往歴予防接種など)不安な事はないか把握する。	ットを使用し訓練する)2月7・8日実施 ・検便3月6日実施 (該当者) ・次年度新人職員	・成長履歴作成 3月8日～作成実施 ・次年度に関する書類準備 ・29年度保健計画
3月	・乳児健康診断 ・就学前指導 ・卒園式	{ 1月25日 2月22日 3月8日 3月7日 3月11日	園児の一年間の成長を記録に基づき把握する。	・就学・進級にむけて、心も体も成長したことを確認する。(前年度は牛乳パックを用いてバック何本分大きくなったかを伝えた)3月7日実施	3月28日実施	作成3月27日